

令和6年度
閲覧設計書

工 事 名	総合流域防災(河川)工事(大里川補正R6-4工区)
工 事 箇 所	いちき串木野市大里 地内
河 川 名	大里川
工 期	300日間

【 閲覧設計書内訳 】

内 訳	添付の有無
特記仕様書	○
図面	○
設計内訳(金抜) ※	○
工事費内訳書	○
数量総括表	○
積算単価根拠表	○

※は参考資料である。

◎本閲覧における問合せについては担当課までお願いします。

担 当 課	河川港湾課 河川砂防第二係
-------	---------------

【留意事項】

従来の「閲覧設計図」の名称を廃止し、「実施設計図」を閲覧設計書に添付しています。

○鹿児島県 土木部

照合確認	電子閲覧
------	------



特記仕様書

工事名： 総合流域防災（河川）工事（大里川補正R6－4工区）

工事場所： 大里川 いちき串木野市大里地内

第1条 準拠図書

本工事は本特記仕様書，契約書，設計図書によることとし，特に定めのない事項については，下記のとおりによるものである。

- (1) 土木工事共通仕様書 (鹿児島県土木部・令和6年4月)
- (2) 土木工事施工管理基準 (鹿児島県土木部・令和4年1月)
- (3) 土木請負工事必携 (鹿児島県土木部・平成28年4月)
- (4) 工事関係書類の様式の統一化 (鹿児島県土木部長通知)
- (5) 道路事業の手引きなどの各主務課で発行したもの (鹿児島県土木部長)
- (6) その他関係法令規則等

なお，これらに記載されていない事項で疑義が生じた場合は，監督職員と協議し，かつその指示に従うこと。

第2条 施工条件明示

次の施工条件明示によるものとする。

施工条件明示（特記すべき事項）

明示事項	明示内容	出典	頁	該当項目	
基本事項	概算数量発注	・概算数量発注方式により積算・工期設定 設計金額2,500万円未満 標準工期+15日付与 設計金額2,500万円以上 標準工期+30日付与	共通仕様書 11-7-1-14	11-73	—
					—
					—
	契約保証金	・契約の保証は、当初請負金額が500万円を超える場合、請負金額の10分1以上の金銭的保証を要す。	契約書 第4条	—	○
	前払金	・前払金を40%の範囲内で支払うことができる。 ・本工事（ゼロ県債）事業については、令和〇年〇月〇日以降に請求することができる。 ・中間前払金を請求することができる。	契約書 第35条	—	○
					○
	部分払い	・部分払いの請求は2回以内で、前払金がある場合でも2回とする。ただし、中間前払金があるときは、部分払いは行わない。	契約書 第38条	—	○
	契約工期	・契約工期は、300日間とする。（12月議会承認済） ・繰越予定工事⇒繰越承認後の工期は〇日間を予定している。	共通仕様書 11-7-1-21	11-77	○
					—
	余裕期間	・余裕期間設定契制度の対象工事 〇〇日、令和〇年〇月〇日まで	共通仕様書 11-7-1-30	11-82	—
	週休2日（試行）	・「週休2日」試行工事	共通仕様書 11-7-2-9	11-86	○
	請負代金内訳書及び工事費構成書	・請負金額1億円以上かつ工期が6ヶ月を超える工事	共通仕様書 3-1-1-1	3-1	—
	品質証明	・予定価格1億円以上で対象工事	共通仕様書 3-1-1-6	3-5	—
	監理技術者等の途中交代	・技術者の途中交代	共通仕様書 11-7-1-3	11-69	○
	監理技術者等の専任を要しない期間	・請負金額4,000万円以上の工事	共通仕様書 11-7-1-4	11-70	○
	現場代理人常駐	・現場代理人の常駐を要しない場合の明確化	共通仕様書 11-7-1-5	11-70	○
	現場代理人兼任（試行）	・現場代理人の兼任に関する運用の試行 兼任可能3件、80,000千円未満など	共通仕様書 11-7-1-19	11-74	—
	特例管理技術者の配置	・下請合計金額4,500万円以上で、監理技術者の兼任を認めない工事 ・下請合計金額4,500万円以上で、監理技術者の兼任を認める工事	共通仕様書 11-7-1-18	11-74	—
					○
中間検査	・本工事は、中間検査を実施する工事（原則3,000万円以上） ・本工事は、中間検査を実施しない工事（浚渫、寄洲除去など）	共通仕様書 3-1-1-8 11-7-1-17	3-5 11-73	○	
				—	
施工体制台帳 施工体系図	・施工体制台帳及び施工体系図等の取り扱い	共通仕様書 1-1-1-10 11-7-1-	1-8 11-71	○	
法定外の労災保険付与	・「土木工事標準積算基準書」を適用する全ての工事	共通仕様書 1-1-1-42	1-31	○	
熱中症対策	・熱中症対策に資する現場管理費の補正対象工事	共通仕様書 11-7-1-13	11-73	○	
時間的制約を受ける工事	・時間的制約を受ける公共土木工事の積算 ①工事全体で制約 ②現道上の工種で制約 ③積算しない	共通仕様書 11-7-1-15	11-73	—	
				—	
				—	
				○	
施工箇所所在	・施工箇所が所在する工事の積算方法 「〇〇地区、〇〇地区、〇〇地区」 一般管理費等の算出率は「〇〇地区」で設定	共通仕様書 11-7-1-24	11-78	—	

施工条件明示（特記すべき事項）

明示事項		明示内容	出典	頁	該当項目
	現場環境改善 (イメージアップ)	・現場環境改善の適用工事 ※港湾・漁港工事は、第3条 その他に記載事項あり	共通仕様書 11-7-1-20	11-75	○
(基本事項)	CCUS	・建設キャリアアップシステム活用工事	共通仕様書 11-7-1-11	11-72	○
	排出ガス対策型 第3次基準値	・排ガス3次基準以上の建設機械の確保が困難と想定される場合 ○○(工種名)(S○○○○)における○○(建設機械名)の機械損料(損料)の第○次基準値の建設機械	共通仕様書 11-7-2-11	11-86	—
		・排ガス3次基準以上の建設機械の確保が可能または可否の判断ができない場合 じゃかご設置(SQ094)におけるバックホウ(クローラ型)山積0.8m3の機械損料(損料)の第3次基準値の建設機械			—
	地域外労働者確保	・地域外からの労働者確保に要する設計変更の試行について 三島村(全域), 十島村(全域), 口永良部島, 加計呂麻島, 与路島, 請島の工事	共通仕様書 11-7-1-31	11-82	—
	国土調査の基準点	・国土調査の基準点等測量標識等の保全	共通仕様書 11-7-2-1	11-83	○
	電子納品	・電子納品ガイドライン対象工事	共通仕様書 11-7-1-1	11-69	○
	県産資材の優先使用	・県産資材の優先使用	共通仕様書 11-7-1-7	11-70	○
	下請工事管内優先活用	・下請工事における管内(県内)建設業者の優先活用	共通仕様書 11-7-1-8	11-71	○
	快適トイレ	・建設現場における「快適トイレ」設置試行対象工事	共通仕様書 11-7-1-12	11-72	○
	三者技術調整会	・本工事は、三者技術調整会を開催する工事	共通仕様書 11-7-1-23	11-77	—
		・本工事は、三者技術調整会を開催を予定していない工事			○
	危機事象時緊急連絡先	・土木工事等において危機事象が発生した場合の対応 地域振興局名： 鹿児島地域振興局建設部河川港湾課 緊急連絡先： 090-3194-0689(稲 河川港湾課長 公用携帯)	特記事項	—	○
暴力団不当介入	・暴力団関係者による不当介入を受けた場合の措置	共通仕様書 11-7-1-2	11-69	○	
環境改善 (工事編)	・「環境改善実施要領(工事編)」により、工事現場の環境改善に取り組まなければならない。	共通仕様書 1-1-1-45	11-31	○	
工程関係	河川区域制約	・河道内の施工(仮設盛土・大型土のう撤去まで)は、出水期前の令和7年5月31日までに完了するように努めること。	特記事項	—	—
	占有物件など	・令和○年○月○日までに、NTT電柱移設が完了予定である。	特記事項	—	—
	部分引き渡し	・令和○年○月○日に○○○○部分を引渡しを行う。	特記事項	—	—
	作業不能日数	・本工事は、波浪等により作業不能日数を○日見込む。	特記事項	—	—
	他工区との調整	・先行している大里川R6-2工区(A2橋台, P1・P2橋脚撤去)の工期は、河川内工事のため、非出水期間である令和7年5月31日までを予定しているので、綿密な工程調整を行うこと。	特記事項	—	○
用地関係	補償物件	・一部の用地については、現在移転中であり、令和3年○月までに移転完了予定である。	特記事項	—	—
	工作物	・No.○○～No.○○までの区間は、農作物の収穫が終わる令和3年○月○日頃まで着工してはならない。	特記事項	—	—

施工条件明示（特記すべき事項）

明示事項		明示内容		出典	頁	該当項目		
	仮設ヤード	・本工事における〇〇の製作に当たっては、仮設ヤードとして下記を考慮。諸条件により難しい場合は、別途協議する。 (1) 場 所： (2) 期 間： (3) 復旧条件：		特記事項	-	-		
公害関係	公害防止	・本工事の仮締切りの鋼矢板の施工については、油圧式バイプロハンマ+ウォータージェット併用による打込み、油圧式バイプロハンマによる引抜きを計画している。なお、現地の状況（土質、地質、周辺環境等）により、これによりがたい場合は、別途監督職員と協議するものとする。		特記事項	-	○		
	水替・流入防止対策	・本工事における水替工については、工事用水中モータポンプ（普通型（潜水ポンプ口径150×1台））による水替を14日間（作業時排水）計画しているが、これによりが難しい場合は、別途協議するものとする。		特記事項	-	○		
工事関係	I C T活用工事 ※第3条 その他に記載事項あり	・発注者指定型（土工）10,000m3以上		試行要領	-	-		
		・受注者希望型（土工）				○		
		・受注者希望型（作業土工（床掘））				-		
		・受注者希望型（土工（1,000m3未満））				-		
		・受注者希望型（小規模土工）				-		
		・受注者希望型（法面工）				-		
		・受注者希望型（舗装工）				-		
		・受注者希望型（舗装工（修繕工））				-		
		・受注者希望型（付帯構造物設置工）				-		
		・受注者希望型（地盤改良工）				-		
		・受注者希望型（河川浚渫工）				-		
		・受注者希望型（構造物工（橋台・橋脚））				○		
		・受注者希望型（構造物工（橋梁上部工））				-		
		・受注者希望型（基礎工）				-		
		・受注者希望型（擁壁工）				-		
工事関係	コンクリート工	・コンクリートは、JISA5308に規定するレディーミクストコンクリートとし、品質については、下記のとおりとする。		特記事項	-	○		
		呼び強度	スランプ				空気量	粗骨材最大粒径
		24N/mm ²	12cm				4.5%	20mm
		使用工種	水セメント比				セメントの種類	その他
		橋台工	55%				高炉	
		呼び強度	スランプ				空気量	粗骨材最大粒径
		30N/mm ²	18cm				4.5%	20mm
		使用工種	水セメント比				セメントの種類	その他
		場所打ち杭工	55%				高炉	
		呼び強度	スランプ				空気量	粗骨材最大粒径
		18N/mm ²	8cm				4.5%	40mm, 20mm
		使用工種	水セメント比				セメントの種類	その他
		基礎、天端、肩止	65%				高炉	
スランプ	・鉄筋コンクリート構造物等のスランプ値について		共通仕様書 11-7-2-10	11-86	○			
シラスコンクリート2次製品	・シラスコンクリート間知ブロック、・シラスコンクリート大型積ブロック、・シラスコンクリート歩車道境界ブロック（B型）、・シラスコンクリート落蓋U型溝及び蓋版（縦断用）、・シラスコンクリート落蓋U型溝（横断用）、・シラスブロック（平板型）・（地域自然石型）、・かぶせ蓋式U型側溝及び蓋版（道路用・水路用）		共通仕様書 11-7-2-6	11-85	○			

施工条件明示（特記すべき事項）

明示事項	明示内容	出典	頁	該当項目	
交通誘導警備員	・現道工事等における交通誘導警備員の資格要件の条件明示 ・交通誘導警備業務検定合格警備員の配置が必要と定めた路線（認定路線）	共通仕様書 11-7-1-22	11-77	—	
				—	
	工事用道路関係	・盛土材の運搬経路は、土取場⇒主要県道 ○○○線⇒市道○○線⇒現場とし、他の経路は通行してはならない。	特記事項	—	—
		・○道○○号は、○○市との協議の結果、○○t以上の工事車両は通行してはならない。	特記事項	—	—
		・本工事施工に伴う工事用車両進入路については、粉じん防止のため、必要に応じて1日2回程度の散水を行うとともに、路面維持に努めること。	特記事項	—	○
	仮設道路関係	・河川内進入路については、全8葉第2号のとおりとし、別途発注工事（大里川R6-1工区）で設置予定であり、本工区においては、下部工撤去及び護岸復旧工完了後にこれを撤去するものとする。	特記事項	—	—
工事標示施設	・通常看板「道路工事現場における表示施設等の設置基準」	特記事項	—	—	
	・「防災・減災、国土強靱化のための5カ年加速化対策」追加看板 対策名「流域治水対策（河川）」			○	
仮設備関係	・本工事の施工のために必要な迂回路に仮設する仮橋の構造は、別添図面とおりとし、存置期間は、令和○年○月○日とする。	共通仕様書 11-7-1-29	11-81	—	
	・本工事で撤去する河川内進入路の盛土材及び大型土のうについては、引き続き発注されるA2橋台・P1橋脚工事（令和7年度中発注予定）に使用する予定であるので、監督員の指定する県有地に仮置きするものとする。			—	
（工事関係）	ヤンバルトサカヤスデ	共通仕様書 11-7-2-3	11-84	○	
	過積載防止	共通仕様書 11-7-2-2	11-83	○	
	遠隔臨場（試行）	共通仕様書 11-7-1-16	11-73	○	
	鳥インフルエンザ	共通仕様書 11-7-2-7	11-85	—	
建設副産物	再資源利用計画の掲示（搬入工事）	特記事項	—	○	
	再資源利用促進計画の掲示（搬出工事）			○	
	建設発生土の処理	建設発生土は、下記の場所に搬出すること。 受入れ場所：いちき串木野市荒川40番地 処分場名：南国殖産(株)串木野出張所 運搬距離：8.4 km その他留意事項など：受入時間帯：8:00～17:00（夜間受入不可） 電話：0996-32-3238	共通仕様書 11-7-1-26	11-80	○

施工条件明示（特記すべき事項）

明示事項	明示内容				出典	頁	該当項目
	工程	作業内容	分別解体等の方法（※）				
建設リサイクル法 ①分別解体等の方法 ※「分別解体等の方法」の欄については、該当がない場合は、記載の必要はない。 ②再資源化等をする施設の名称及び所在地	①仮設	仮設工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用		共通仕様書 11-7-1-25	11-78	○
	②土工	土工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用				
	③基礎工事	基礎工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用				
	④本体構造	本体構造の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用				
	⑤本体付属物	本体付属物の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用				
	特定建設資材廃棄物の種類		施設の名称	所在地	鹿児島県における再生資材活用工事実施要領（土木）の運用	-	
	コンクリート殻（無筋）		南州砕石（株）	東市来町養母18115（L=11.0km）			
再生資源の利用	資材名		規格	備考 （使用箇所）	共通仕様書 11-7-1-25	11-78	○
	再生切込砕石（かごしま認定リサイクル製品）		RC-40(30)	護岸工（胴込・裏込材）			
	建設発生土の利用 ・○○に使用する土は○○工事の建設発生土を利用するものとする。				共通仕様書 11-7-1-26	11-80	-
建設副産物の搬出 ①指定副産物 ②一般廃棄物	廃棄物の種類	施設の名称	所在地	運搬距離	共通仕様書 11-7-1-25	11-78	-
	コンクリート						
	アスファルト						
	木くず						
	刈草・剪定枝葉						
（建設副産物） 建設汚泥の再生利用 ①処理概要 ②「建設汚泥処理土の品質区分基準」	中間処理の場所	中間処理の方法	再生品の品質	利用用途	共通仕様書 11-7-1-25	11-78	-
	品質区分基準	指標等		試験回数	共通仕様書 11-7-1-25	11-78	
	品質基準	コーン指数					
	生活環境保全上の基準	土壌環境基準（環境基本法） 特定有害物質の含有量基準（土壌汚染対策法）					
	建設汚泥の搬出 ①施設の名称及び所在地 ②受入時間 ③その他 仮置き等必要条件	廃棄物の種類	施設の名称	所在地	運搬距離	共通仕様書 11-7-1-25	11-78
○○処分場：○○時○○分～○○時○○分 エコパークかごしま：○○時○○分～○○時○○分							
舗装切断作業時に発生する排水の処理	舗装切断作業時に発生する排水の処理について				共通仕様書 11-7-1-28	11-81	-

施工条件明示（特記すべき事項）

明示事項		明示内容			出典	頁	該当項目
	根株、伐採木等の利用	保管場所：〇〇市〇〇町〇〇地内 ・〇〇市〇〇町〇〇地内に保管している、根株・伐採木を法面工の基盤材として、発注者から引き受けることとする。			共通仕様書 11-7-1-27	11-81	—
	発生工事 利用工事						—
その他	関係機関との協議	・本工事については、市来小・中学校と近接して施工するため、施工計画作成及び工事の施工にあたっては、十分に留意するものとする。			共通仕様書 1-1-1-37 11-7-2-5	1-28 11-85	○
	施工体制点業務への協力	・本工事の施工体制点検業務を委託している「施工体制調査員」が工事現場に点検を実施する。			共通仕様書 11-7-2-4	11-85	○
	路上工事の縮減	・路上工事縮減に関する行動計画※鹿児島県域路上工事縮減対策協議会HP参照			特記事項	—	—
		①ゴールデンウィーク・お盆・年末年始					—
		②交通への影響が大きい期間（祭り、イベント等）					—
		③年度末（抑制期間）					—
	漁協権者との調整	・工事着手前に、内水面漁業権者と工法、施工時期、水質汚濁防止の方法等について協議し、河川工事の理解と協力を得ること。また、その結果について工事打合簿により報告すること。			特記事項	—	—
	工事現場発生品	・在来施設の撤去により生じた現場発生品は、当該工事に使用するものとし、残量については、下記の場所まで運搬のうえ引渡すものとする。			共通仕様書 1-1-1-18	1-12	—
現場発生品名		引渡場所	/				
支給材料及び貸与品	・本工事における支給品は、下記のとおりとする。			共通仕様書 1-1-1-17	1-11	—	
	支給品名	規格	数量・単位			支給場所	
部分使用	<p>・本工事については、工事引き渡し前に工事請負契約書第33条により下記について部分使用する場合がある。その際は、受注者の承諾を得るものとする。</p> <p>(1) 部分使用範囲：別添図のとおり</p> <p>(2) 目的：</p> <p>(3) 部分使用期間：令和〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日</p>			契約書 第34条	—	—	

第3条 その他

1 (契約数量)

この工事の契約数量は、設計図書及び数量総括表のとおりとする。この数量に変更を生じた場合は、発注者及び受注者協議の上、契約変更の対象とする。
ただし、出来形等に係る設計値は図面及び構造物調書のとおりとする。

2 (出来形確認)

受注者が工事の完成を通知するまでの間において、現場代理人又は主任技術者等の立会いのもと、最終出来形確認を実施するものとする。

3 (長期休暇期間の連絡体制等)

工事の期間が年末年始、長期連休期間、盆休み、その他長期休暇中に係る場合は、事前にその期間の管理体制、緊急連絡体制について記した書類を提出すること。また、警報発令等の悪天候後は、現場巡回を行い、結果を連絡すること。

4 (ICT活用工事理由書)

(1) ICT活用工事による施工を希望しない場合は、今後のICT活用工事の普及の参考とするため、「ICT活用工事を希望しない(できない)理由書」を記入し、電子(エクセル)データにて監督員に提出すること。
(2) 前項の「理由書」は、鹿児島県鹿児島地域振興局建設部のホームページから取得できる。

5 (クレーン類の賃料)

ラフテレーンクレーン、トラッククレーン及びクローラクレーン4.9t吊の賃料は、公共事業設計単価表の日標準賃料で積算しているが、賃貸期間がラフテレーンクレーン、トラッククレーンの合計で24日未満となる場合、クローラクレーン4.9t吊で20日未満となる場合は、通常賃料での積算として設計変更の対象とする。

6 (産業廃棄物税)

本工事により発生する建設廃棄物のうち、焼却施設及び最終処分場に搬入する産業廃棄物には、産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。

7 (各種様式及び要領等)

本特記仕様書内の各種様式及び実施要領等について、詳細を記載していないものは、鹿児島県ホームページ (>分類から探す>社会基盤>公共事業>技術管理・検査) から取得できる。

8 (工事履行報告書)

毎月25日までに、月末時点における工事履行報告書及び工事進捗状況写真(全景又は代表部分)を監督職員へ提出すること。

9 (環境改善実施要領(工事編)について)

工事の実施にあたっては、「環境改善実施要領(工事現場編)」に基づき、受発注者相互に協力し、取り組むものとする。

10 (熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行について)

(1) 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行対象工事である。
(2) 試行にあたっては、「熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行について」(令和6年3月14日付け技術管理室長通知)に基づき行うものとする。
(3) 「熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行について」(令和6年3月14日付け技術管理室長通知)は、鹿児島県ホームページから取得できる。

11 (情報活用システムの利用について)

- (1) 本工事においては、原則として情報共有システムを利用するものとする。
ただし、インターネット環境が確保できない等、やむを得ない理由があると認められる場合に限り、監督職員と協議の上、対象外とすることができる。
- (2) 情報共有システムは、「鹿児島県電子納品ガイドライン」及び「同運用の手引き」に定めたものでASP方式とする。
- (3) 利用する情報共有システムのプロバイダは、監督職員と協議の上、決定すること。